

# 地域研究（欧州）

4月21日

問題 以下の文章を読み、空欄に適語を入れなさい。

19世紀後半以降、ドイツとフランスは度々、戦火を交えているが、普仏戦争で勝ったのは（ア）、第1次世界大戦で勝ったのは（イ）、また、第2次世界大戦で勝ったのは（ウ）である。欧州における平和の実現には両国の和解が不可欠であるという考えに基づき、第2次世界大戦後には3つの欧州共同体が設立され、現在、それは（エ）に発展している。

3つの共同体とは、①欧州石炭共同体、②欧州経済共同体と③欧州原子力共同体であるが、最初に、詳細には1952年に設立されたのは①である。①の設立は、ドイツとフランスは長年にわたり、石炭・鉄鋼業が盛んな地域をめぐる戦争を繰り返してきたため、両国が和解し、ヨーロッパに平和をもたらすには、その地域を共同で管理することが必要であるとの考えに基づいている。これを1950年（オ）月（カ）日に提唱したのは（キ）である。また、ドイツとフランスの狭間で数奇な運命をたどった地域（波線を引いた地域）とは（ク）である。

ヨーロッパでは（ケ）が普及しており、それがヨーロッパの特性の一つになっているが、その宗派は地域による異なる。特に、南欧では（コ）、北欧では（サ）が広く信仰されている。

ヨーロッパの東端は明確ではない。例えば、（シ）の大部分はアジアないし中東にまたがっているが、ヨーロッパに属すると扱われている。これは（シ）の首都アンカラがヨーロッパにあることや、中東におけるヨーロッパの影響力を強めること、また、中東情勢を安定化させるといった意義を持っている。

これに対し、（ス）は文化、宗教また民族的にヨーロッパに属するが、政治・安全保障体制が異なることから、ヨーロッパには属しないとされることもある。特に、ヨーロッパとEUが同一視されるとき、（ス）はヨーロッパに属しないと扱われる。

「西欧」や「東欧」という語には、単に「東」や「西」といった地理的な意義だけではなく、（セ）という意義が込められることがある。